

生活介護ひまわり（通所事業）職員の新型コロナウイルス感染について（お知らせ）

4月24日（日）に生活介護ひまわり（通所事業）の職員1名が新型コロナウイルスのPCR検査で陽性と判定されました。

これに伴い、25日（月）から通所事業は一時閉鎖とさせていただきます。

生活介護等を行っている事業所ひまわりにおきまして、4月20日（水）に接触歴のある方に関し、4月22日（金）にPCR検査で陽性判定が出ました。ひまわりの職員に対し4月22日（金）および23日（土）にわたり抗原検査キットを使用し、9人全員が陰性であることを確認しました。しかしながら、うち職員1名が24日（日）にPCR検査にて陽性と判定されました。当該職員は所定の療養に入っております。

これを受けてひまわりで行っている通所事業はいったん中断とさせていただきます。

その他のひまわり職員8名に関しても4月24日（日）から25日（月）にかけてPCR検査を受けており、現時点で2名の陰性を確認しております。残る6名の結果は4月26日（火）のうちに判明する予定です。

社会機能維持者において、最終接触より4日目かつ5日目の抗原検査キットで陰性である場合、または5日目のPCR検査で陰性であった場合、感染は起こらなかったと考える十分な根拠になるとされております。

ひまわり職員に関して上記のように対応しておりますが、最終的なPCR検査の結果がそろうのは4月26日（火）中になる予定ですので、事業所の再開が可能になるのは28日（木）以降を見込んでおります。

関係者の皆さまにはご迷惑ならびにご心配をおかけすることになり、誠に申し訳ございません。

ひまわりの職員をはじめ、他の部門の職員に関しましても健康状態を注意深く把握していくとともに、引き続き感染防止対策を徹底してまいります。

令和4年（2022年）4月25日

社会福祉法人 幸生会
理事長 村川 喜信
諫早療育センター
施設長 國場 英雄